



富士山
書き初め
2020
FUJISAN KAKIZOME

受賞作品集

主催：認定NPO法人富士山世界遺産国民会議／毎日新聞社

後援：山梨県／静岡県

協力：公益財団法人独立書人団

いあいり

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議 理事長 青柳正規
毎日新聞社 代表取締役社長 丸山昌宏

富士山書き初め2020に入賞された皆さん、おめでとうございます。今年も小学生低学年の部、高学年の部、中学生の部、高校生の部で作品を募集し、合計1万3003点の応募がありました。たくさんのご応募をいただきありがとうございます。

富士山書き初めは一昨年から始まった書き初めのコンクールで、認定NPO法人富士山世界遺産国民会議と毎日新聞社が共同で主催しております。

富士山世界遺産国民会議は山梨・静岡両県とともに世界文化遺産の富士山を守り、後世に継承するためのPR活動や、富嶽三十六景を題材にした小学生向けの教材開発や配布などの活動を続けています。

毎日新聞社も富士山の環境保全を目的とし、清掃登山活動をする富士山再生キャンペーンや、富士山麓の河口湖で音楽祭を開くなど様々な活動をしています。

2013年には富士山が世界遺産に登録されましたが、その環境保全を継続するとともに、文化をより豊かに育む上で、日本のシンボルとなってきた富士山について学ぶ機会もより大きく期待されています。当事業もそのような背景の中、子どもたちに日本の文化である書き初めを通して、日本のシンボルである富士山を大切にする心を育む機会としてほしいという願いから始めました。

今年も数多くの作品を応募頂き、すばらしい作品が集まりました。そのうち、上位受賞作についてはこの冊子に掲載しております。富士山に寄せる思いが表れた作品をご覧頂ければと思います。

目次

（あいさつ）	1
富士山書き初め2020	3
審査講評	4
小学生低学年の部	5
小学生高学年の部	8
中学生の部	11
高校生の部	14
富士山書き初め2020（表彰式・特集紙面・展示）	17
富士山書き初め2020（最優秀賞）受賞者コメント	19

富士山書き初め2020

主催 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議

毎日新聞社

後援 山梨県 静岡県

協力 公益財団法人独立書人団

参加料 無料

参加対象 小学生、中学生、高校生

部門 小学生低学年の部、小学生高学年の部、
中学生の部、高校生の部

課題

○小学生低学年の部

「ふじ」「雲上」

○小学生高学年の部

「富士山」「ご来光」

○中学生の部

「令和富士」「世界遺産」

○高校生の部

「霊峰富士」「初冠雪」

応募期間 2019年8月～10月

審査期間 2019年11月

審査員 仲川恭司(委員長)

(二財)毎日書道会理事

(公財)独立書人団理事長

長野秀章

東京学芸大学名誉教授

元文部科学省教科調査官 など

展示 2020年1月22日～29日 毎日新聞東京本社1階

表彰式 2020年1月26日 毎日ホール

応募点数 1万3003点

入賞入選数 各部門につき、最優秀賞1点、

山梨県知事賞1点、静岡県知事賞1点、

毎日新聞社特別賞1点、

富士山世界遺産国民会議賞2点。

その他、推薦各課題ごとに若干名、

特選その他審査員が優秀と認めたもの

問い合わせ先

〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館5階

毎日企画サービス「富士山書き初め2020」係

審査講評

今回が3回目となる「富士山書き初め2020」に今年も日本が誇る美しい富士山に思いを馳せるた
くさんの力作、計1万3003点が全国から寄せられました。

小・中学生の課題は半紙での募集で、2字〜4字を収めることは大変難しい技能と言えます。今年は
新しい元号の入る「令和富士」も課題になりました。一字一字の筆使いがすぐれた作品、またそれぞれ
字形が整っている作品など、どの作品も一生懸命努力された作品が多かったです。もちろん、筆使いや
字形が良いこともとても大切ですが、それぞれの課題の言葉が一つにまとまり作品が一つの表現として
成立しているかということ重視して選考をしております。次年度はこのようなことも考えてまた出品し
ていただきたいと思っております。

高校生の部は小中の書写的な書道から一步進んで芸術書道となり、サイズも半紙よりも大きい半切で
募集しています。漢字3文字「初冠雪」の課題は全体に余白の部分が多くなり難しかったようですが、
いろいろ工夫をした表現をしており、感心いたしました。また4文字の課題「霊峰富士」は富士山の美
しさの中に厳しさや雄々しさが表現されていました。半切でも言葉全体が一つに見えることが大切です。
高校生の部では紙面を圧倒するような迫力も期待されます。次年度もより多くのご応募、また素晴ら
しい作品をお待ちしております。

委員長 仲川恭司

委員 長野秀章

小学生低学年の部

最優秀賞



和歌山県・有田市立保田小学校2年
落合萌朱

山梨県知事賞



香川県・高松市立川添小学校3年
児玉和城

静岡県知事賞

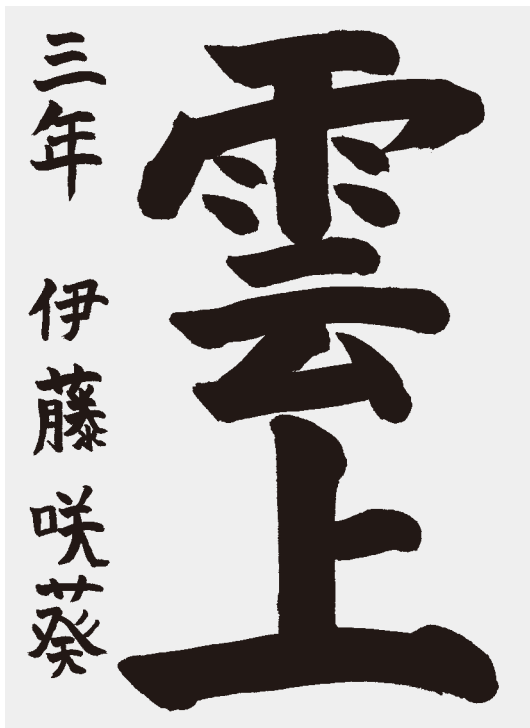


埼玉県・吉見町立南小学校2年
島田羽琉



毎日新聞社特別賞

千葉県・松戸市立古ヶ崎小学校3年
森結菜



山口県・宇部市立鶴ノ島小学校3年
伊藤咲葵



高知県・高知市立神田小学校3年
武田実玖

富士山世界遺産国民会議賞

小学生高学年の部

最優秀賞



香川県・高松市立新番丁小学校6年
渡部彩乃



和歌山県・紀美野町立下神野小学校5年
岡本実穂

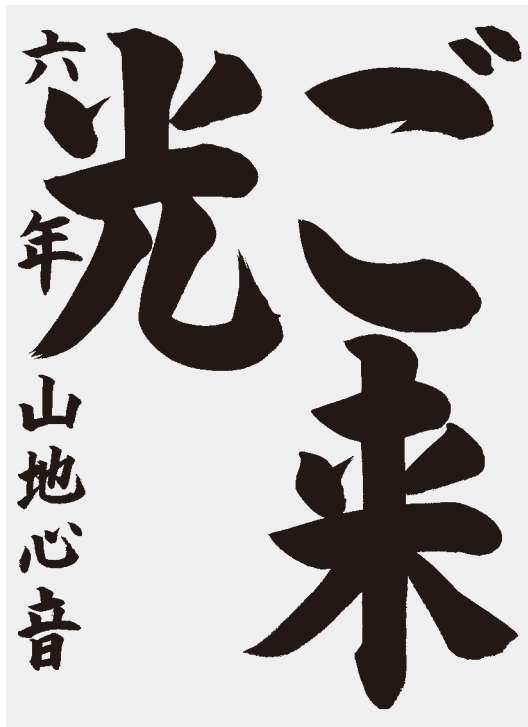
山梨県知事賞



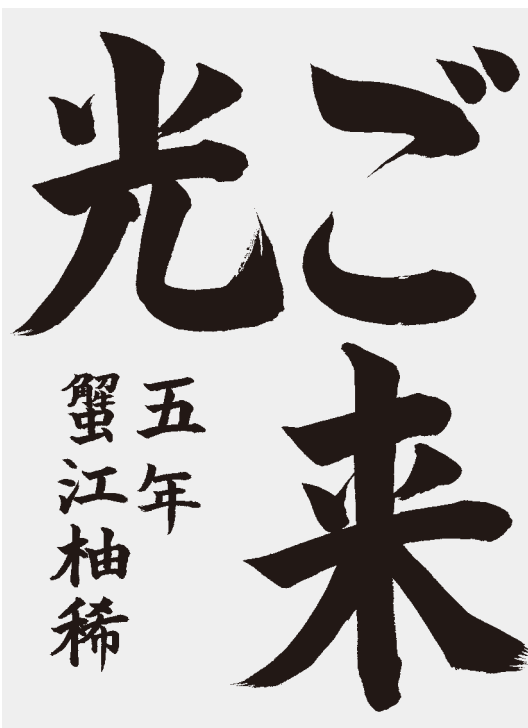
広島県・呉市立呉中央小学校5年
伊東琥子

静岡県知事賞

毎日新聞社特別賞



香川県・高松市立木太北部小学校6年
山地心音



愛知県・蒲郡市立蒲郡西部小学校5年
蟹江柚稀



山梨県・私立駿台甲府小学校6年
角田繭璃

富士山世界遺産国民会議賞

中学生の部

最優秀賞



徳島県・松茂町立松茂中学校3年
中田勝也

山梨県知事賞



山梨県・西桂町立西桂中学校3年
岩田杏実

静岡県知事賞



岡山県・倉敷市立東陽中学校1年
大倉千奈



毎日新聞社特別賞

岡山県・笠岡市立笠岡東中学校2年
森田湖々



大分県・私立明豊中学校3年
西本光輝



徳島県・鳴門教育大学附属中学校1年
山根由衣

富士山世界遺産国民会議賞

高校生の部

最優秀賞



兵庫県立芦屋高等学校3年
大野詩織

山梨県知事賞



千葉県・私立木更津総合高等学校 2年
石井美桜

静岡県知事賞



埼玉県立松山高等学校 2年
大槻竜世

毎日新聞社特別賞

富士山世界遺産国民会議賞

高一 初冠雪
雨宮沙雪

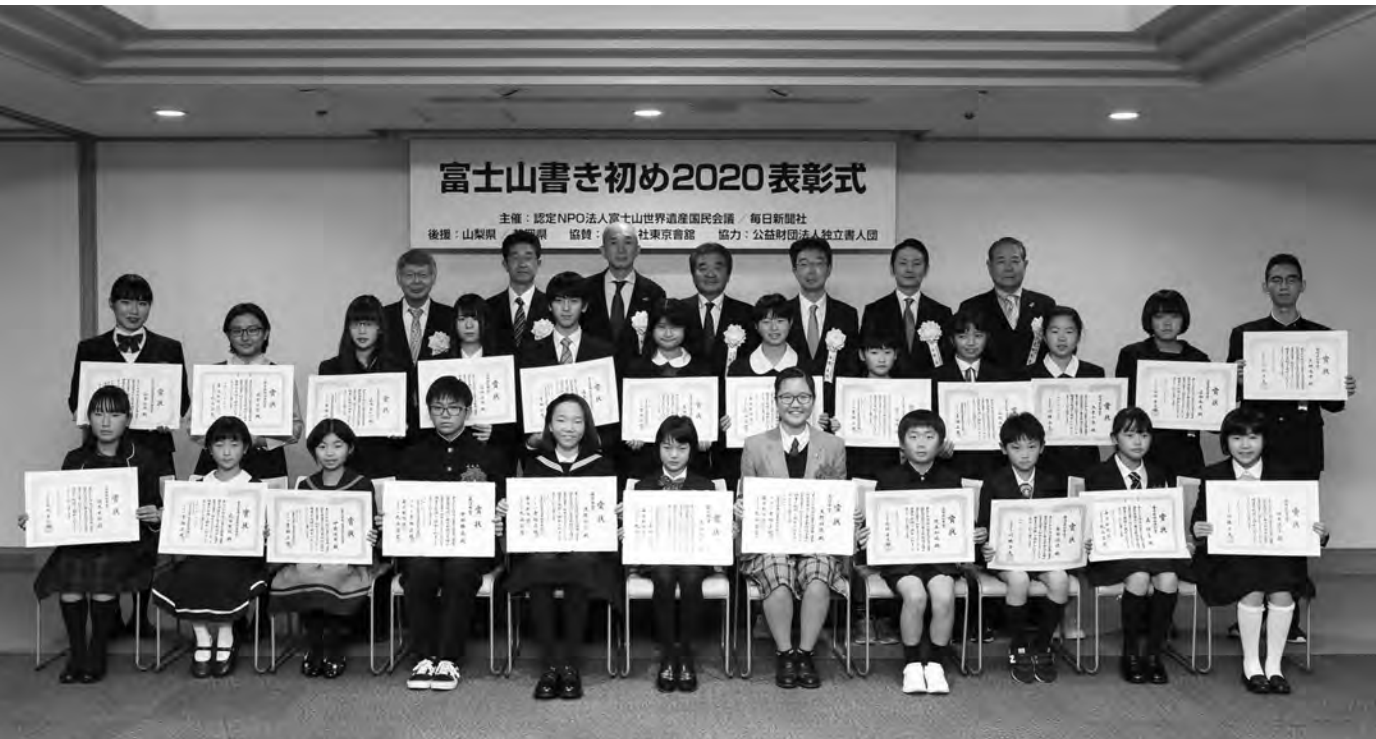
東京都・私立光塩女子学院高等科1年
雨宮沙雪

高三 霊峰富士
山本優里

大阪府・私立梅花高等学校3年
山本優里

高二 初冠雪
武本あかね

兵庫県・私立白陵高等学校2年
武本あかね



「富士山書き初め 2020」表彰式集合写真



「富士山書き初め 2020」表彰式の模様

富士山書き初め2020
 表彰式・特集紙面・展示

富士山 書き初め 2020 FUJISAN KAKIZOME

「富士山書き初め2020」は、毎日新聞が主催する、小学生から高校生まで、幅広い年齢層の子どもたちが参加できる、全国規模の書き初め大会です。今年も、多くの子どもたちが、富士山をテーマに、個性豊かな作品を発表しました。

2020年(令和2年)1月18日(土) 夕刊 4版

書の高みへ伸び伸び

二年 **ふじ**
落合もか
小学生低学年の部 最優秀賞
落合萌朱さん

六年 **富士**
渡部彩乃
小学生高学年の部 最優秀賞
渡部彩乃さん

中学生の部 最優秀賞
中田勝也さん
世界遺産
中田勝也



- 小学生低学年
最優秀賞 落合萌朱 (和歌山県有田市立保田小2年)
山梨県知事賞 児玉和城 (高松市立川区小3年)
静岡県知事賞 島田羽瑠 (埼玉県鶴岡市立南小2年)
毎日新聞社特別賞 森崎実 (千葉県市川市立百舌鳥小3年)
富士山世界遺産 国民会議賞 武田美空 (高知市立御田小3年)、伊藤侑美 (山口県宇部市立藤ノ島小3年)
- 小学生高学年
最優秀賞 渡部彩乃 (高松市立新高小6年)
山梨県知事賞 岡本実穂 (和歌山県紀美野町立下野野小5年)
静岡県知事賞 伊藤成子 (広島県呉市立中央小5年)
毎日新聞社特別賞 山崎心音 (高松市立木太東部小6年)
富士山世界遺産 国民会議賞 角田麻葉 (山梨・駒台町小6年)、菅江結稀 (厚知市立西郷小6年)
- 中学生
最優秀賞 中田勝也 (徳島県松茂町立松茂中3年)
山梨県知事賞 岩田杏奈 (山梨県西桂町立西桂中3年)
静岡県知事賞 大森千奈 (岡山県倉敷市立東陽中1年)
毎日新聞社特別賞 深田陽々 (岡山県岡山市立笠岡南中2年)
富士山世界遺産 国民会議賞 山崎心音 (山梨・駒台町小6年)、菅江結稀 (厚知市立西郷小6年)、西本光輝 (大分・明豊中3年)
- 高校生
最優秀賞 大野詩織 (兵庫県立戸塚高3年)
山梨県知事賞 石井美桜 (千葉・木更津総合高2年)
静岡県知事賞 大槻唯世 (埼玉県立影山高2年)
毎日新聞社特別賞 前田伊香 (東京・光塩女子学院高1年)
富士山世界遺産 国民会議賞 北本麻理 (大分・梅花高3年)、武本志帆 (兵庫県・白陵高2年)

審査委員長
仲川 恭司氏
毎日新聞社理事
独立審人団体事務長

奥深さ再度実感
小学生高学年の部は、今年も多くの作品が発表されました。審査委員長 仲川 恭司氏は、「多くの作品が、小学生高学年の部ならではの奥深さを感じました。特に、世界遺産の部では、中学生の作品も、小学生高学年の部と同等のレベルで発表されました。これは、中学生の創作意欲の高まりが表れていると感じています。今後も、小学生高学年の部を、中学生の部と同等のレベルで発表できるように努めます。」とコメントしました。

審査委員
長野 秀章氏
東京学芸大学名誉教授
元文部科学省教科調査官

毛筆らしき堪能
審査委員 長野 秀章氏は、「多くの作品が、毛筆らしき堪能を感じました。特に、小学生高学年の部では、多くの作品が、毛筆らしき堪能を感じました。これは、小学生高学年の部のレベルが高まっていると感じています。今後も、小学生高学年の部を、中学生の部と同等のレベルで発表できるように努めます。」とコメントしました。

山梨県知事賞

雲上富士
小三 児玉和城
小学生低学年の部
児玉和城さん

世界遺産
五年 岡本実穂
小学生高学年の部
岡本実穂さん

霊峰富士
高二 石井美桜
高校生の部
石井美桜さん

静岡県知事賞

ふじ光
二年 しま甲ほ
小学生低学年の部
島田羽瑠さん

ご来和
小五 伊東琥珀子
小学生高学年の部
伊東琥珀子さん

富士和
中大 金千奈
中学生の部
大倉千奈さん

富士和
高二 大槻唯世
高校生の部
大槻唯世さん

高三 大野詩織さん
高校生の部 最優秀賞
霊峰富士
大野詩織

「富士山書き初め 2020」毎日新聞特集紙面



「富士山書き初め 2020」作品展示の様相

富士山書き初め2020〈最優秀賞〉受賞者コメント

「小学生低学年の部」

和歌山県・有田市立保田小学校2年

落合 萌朱



この度は、最優秀賞という大変素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。

書道教室の先生から結果を聞いた時はびつくりしましたが、すぐにうれしい気持ちになりました。

私は、4歳から書道教室に通っています。二人のお姉ちゃんがこの大会で賞をもらったときは、私も頑張ろうという気持ちになりました。

私の学年は、上手な友達が多いので、なかなか一番になれなくて、しんどかったこともありましたが、1年間『ふじ』という課題をたくさん練習しました。教室の練習が終わってから家でもたくさん練習しました。

先生が、いつも宿題で書いてくる量の多さにびつくりしていましたが、たくさん褒めてくれました。

私がこの賞をとれたのは、いつも熱心に厳しく教えてくれる書道教室の先生や褒めてくれた家族みんなのおかげです。

うまく書けなかったときは、日本一の富士山を考えながら大きく、のびのびと書きました。

これからも、たくさん練習をしてみんなに見てもらえるような良い字を先生の指導を受けて書いていきたいと思えます。

本当にありがとうございます。

「小学生高学年の部」

香川県・高松市立新番丁小学校6年

渡部 彩乃



この度は「最優秀賞」という素晴らしい賞を頂きありがとうございます。

受賞のお知らせを聞いた時はびつくりしましたが、とてもうれしかったです。

私は、今までこの富士山書き初め展で賞に入るこゝとができませんでした。

今回の課題である「富士山」という言葉を練習している時に昨年「最優秀賞」を取った方の作品を見て、いつか私もこの最優秀賞に入りたいという思いが強くなり、今まで以上にたくさん練習を頑張りました。

そして今回、その努力が実りうれしい気持ちでいっぱいです。

いつも熱心にご指導してくださる先生や応援してくれる家族に感謝し、これから中学生になっても、行書にも挑戦して、たくさん練習を積み重ね、もっともっと上手に書けるように努力し続けていきたいです。

「中学生の部」

徳島県・松茂町立松茂中学校3年

中田 勝也



この度は「最優秀賞」という、とても名誉ある賞を頂きありがとうございます。僕は4歳から兄二人と共に母の元、書道を始めました。母や大学で書道を学んでいる兄の影響を受け、書に興味を持ちました。

今回このコンクールに出品したのは、徳島県で唯一、芸術科のある名西高校の書道講座に参加したことがきっかけでした。この講座で先生方や高校生のみなさんに指導して頂き、コンクールの課題を書きました。

スケールの大きな作品になるように、羊毛の筆と濃墨を使って書きました。抑揚を出して、リズム良く仕上げるのができ、この「世界遺産」という作品は僕にとって中学校生活最後の思い出に残る作品となりました。

今回の受賞は、小さい頃から教えてくれた母や、名西高校の先生方のご指導のおかげです。

今後この賞を励みに、高校でも更に精進して行きたいと思います。本当にありがとうございます。

「高校生の部」

兵庫県立芦屋高等学校3年

大野 詩織



この度は最優秀賞という名誉ある賞を頂くことができ、本当に嬉しく思っています。

私が中学三年生のとき、ふとつけたテレビ番組に芦屋高校書道部が特集されていました。そこで放送されていた、仲間と先生が一体となり書道パフォーマンスをする先輩方の姿や、一人一人が半紙に古典を臨書し書道と向きあう様子に憧れ芦屋高校入学と書道部入部を達成することができ夢の書道部生活がスタートしました。

書道部として活動してきた中で、昨年の富士山書き初め2019において、尊敬する先輩である藤川彩花さんが最優秀賞を受賞されているのを見て、私も続きたいと思い、今回の富士山書き初め2020に挑戦しました。今回の受賞は私一人の努力ではなく、周りのたくさんの方の支えがあるからこそ実を結ぶことができたと感じています。

出品するにあたり、顧問の狩谷申子先生と作品の構想を練っていたとき、高校三年間の集大成を「霊峰富士」の四字に表現できるように書きたいという思いを伝え、特に精を出して学んだ隸書体で臨もうと決めました。そこで隸書体の筆法を生かした古典味のある「霊峰富士」を書き上げられたと思います。

私の夢は、高等学校芸術科・書道の教員になることです。いつも熱心に指導して下さった先生、ずっと支えてくれた両親、そして共に高め合ってきた仲間達に感謝を伝えるために、必ず叶えます。そして、書道という文化を未来に繋げていけるように、これからも書道と向き合い、楽しみ、私の書の道を進んでいこうと思います。

今回、作品を選んで下さった先生方、ご協力して下さった関係者の皆様、本当にありがとうございます。



いつまでも
富士山を
世界遺産に

 毎日新聞 